

## 令和4年度 入学式式辞

学長の島田眞路です。

全国各地そして海外から、山梨大学の学部・大学院及び特別専攻科に入学された1,227名の新入生の皆さん、本日はご入学誠におめでとうございます。山梨大学の教職員・在学生一同を代表して、心より歓迎いたします。また、これまで皆さんを支えてこられましたご家族の皆様方に心からお祝い申し上げます。

昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため、新入生及び保護者の皆様が一同に集まった入学式は行わなかったのですが、本年は感染防止対策をとりつつ、入学式の参加を新入生のみで制限しての開催といたしました。大変な受験の時期をずっと見守り、支え励ましてこられたご家族の皆様のご出席がかなわない状況で式を執り行うことは、とても残念ですが、ライブ配信で式をご覧の皆様と共に、入学をお祝いしたいと思います。

ここで本学山梨大学について少しご紹介したいと思います。

山梨大学は、遠く江戸時代までさかのぼる1796年に設けられた幕府の学問所 昌平黌の分館「徽典館」に始まり、200年以上の歴史がある大学です。2002年には国が設立する最後の国立医科大学として開学した旧山梨医科大学と統合し、改組を断続的に行い、現在の4学部、教育学部、工学部、生命環境学部、医学部となりました。大学院も2016年4月の改組により医学・工学・農学等が融合した「大学院医工農学総合教育部」が開設され、以前にもまして幅広く、より体系的で充実した教育研究を行うことが出来るようになりました。そして、全国に先駆けた様々な改革を実施しております。

2020年4月に、本学は文部科学省から「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」の協力校として選定され、全ての学部新入生を対象に、数理・データサイエンス・AI教育を必修とするなどのカリキュラム改革を行い文理を問わず反転授業も取り入れ、全学態勢で新たな教育を進めています。

また、同年には公立の山梨県立大学と連携、全国初となる一般社団法人「大学アライアンスやまなし」を設立、昨年“大学等連携推進法人”の認定を受けました。どちらの大学でも学び単位

が取得できる連携開設科目を 53 科目開設、今年度は 132 科目に増やしました。更に地域人材養成センター、山梨県幼児教育センターも立ち上げました。これらが文部科学省から高く評価され、昨年度、全国立大学中、特筆すべき事例として、唯一、NO.1 の業績と評価されたところ  
です。

これに伴い、本学は「改革を推進する大学」として認識され、数々の大型の補助金を獲得することができました。国の科学技術振興機構(JST)関連事業では5件採択されました。中でも本学を代表する水素/燃料電池分野では精密機器の設計・構造分野で技術力の高い日邦プレシジョン株式会社との共同研究で、燃料電池自転車<sup>①</sup>が完成し、長崎知事と一緒に試乗式を行ったことは楽しい思い出です。近年自転車の人気はめざましく、「サイクル王国やまなし」の実現を目指し、各種関連企業との協力も進んでおり、一般社団法人も立ち上げました。

山梨県も甲府市の南に位置する米倉山で太陽光発電から水素を生産し、乗り物だけでなく建物内でも燃料電池を駆動させる CO2 フリー、カーボンニュートラルな社会を創ることを目標にしています。本学の世界最先端の燃料電池研究がこれとマッチして、貢献できればと願っています。

教育・研究・社会貢献においても、本学は、「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに構成員が一丸となって協働し、取り組んでおります。

まず、研究面では燃料電池ナノ材料研究センターやクリーンエネルギー研究センターが水素・燃料電池研究で世界をリードしています。発生工学研究センターでは、先端的ライフサイエンス研究を推進し、マイクロマニピュレーター（微生物や動植物細胞などに直接接触して処理する装置）を使ってクローンの作出や宇宙移植など世界初の実験を行っています。また、果実酒を専門に研究する唯一の国立研究機関として 1947 年に設置された発酵研究所は、現在、ワイン科学研究センターとなり、ワイン研究や人材育成で大きな成果を上げ、日本のワイン研究・教育の代表として世界で活躍しています。

また、昨年度は、最先端の脳科学研究の推進と新たな教育の展開を図るため、医学部を中心に山梨GLIAセンターを新たに設置しました。早速、慢性の痛みのメカニズムの解明など、世界的な研究成果を上げています。

次に、教育面では、医学部において、独自に一年生から高度な研究に参加できる研究医養成プログラム「ライフサイエンスコース」を用意しています。この伝統あるコースを受講した学生は、文部科学大臣賞ほか、数々の賞を受賞するなど高い評価を受けています。また、工学部では「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」をキャッチフレーズに掲げて反転授業やアクティブ・ラーニングをいち早く取り入れ、大きな成果を上げております。生命環境学部には「ワイン科学特別コース」、「観光政策科学特別コース」が設置されており、全国的に見ても特色のある課程となっています。

そして、本年度から医学部と生命環境学部の連携による脳・免疫学分野の学部レベルの融合教育プログラム「バイオ・メディカルデータサイエンス特別コース」が新設され、教育の充実を図ります。

医学部附属病院は、山梨県唯一の特定機能病院として“すべての患者さんに「安心」を”というキャッチフレーズで、高度で安全な医療を堅持し提供しています。我が国で最高の性能を誇る3テスラの高磁場MRI装置搭載脳神経外科用手術室、TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）という高度な心臓手術が行える本格的なハイブリッド手術室システム、2台の内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」など高機能の手術設備や、広くて清潔、居心地の良い患者さんのニーズに応えた新病棟Ⅰ期棟やⅡ期棟が稼働しています。

一方で、山梨県の病院の代表として、現在、新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組んでいます。昨年3月にはいち早くワクチン接種を開始し、医療従事者、学生、教職員、県内の大学生、高校生、企業等、延べ約12万回接種をいたしました。90%以上の学生が接種を受けたので、対面授業もいち早く安心、安全の形で行うことができました。昨年4月～6月及び本年1月には文部科学省からの派遣要請に応え、大阪と沖縄に看護師計15名を派遣、8月には県の要請を受けて富士河口湖、中央市そして本年1月からは甲府市の医療強化型宿泊療養施設を運営しています。既に延べ5200名以上を受け入れました。また、大学が独自に開発したSHINGENシステムをホテルだけでなく退所後ケア、ホームケアやファーストケア対象者にも利用するなど、山梨県内のすべての患者さんを病院内と同様に管理しています。SHINGENシステムとは、患者さんが自身のスマホでQRコードを読み取るとシステム内に入り、発熱や

呼吸状態など症状を入力することができます。その情報を 24 時間体制で、医師、看護師が一括管理するシステムで、患者さんには自宅にいても放置されることがありません。教職員一丸となって地域医療を支えてきたこれらの取り組みが山梨県から高く評価され、昨年 11 月 25 日《県政特別功績》という県の最高賞も受賞いたしました。

山梨県は、南方に世界文化遺産の富士山、北方に八ヶ岳、西方に南アルプス連峰を望む風光明媚な地であります。厚生労働省の調査では、自立して日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」は、令和 3 年度の発表で男女ともに全国第二位、最新の都道府県別移住希望地調査でも 3 位にランキングしています。また、ぶとう、すもも、ももの収穫量、ミネラルウォーター出荷量、貴金属・宝飾品製造事業者数、ワイナリー数、日本ワイン生産量そして日照時間も日本一です。

山梨県が誇る武田信玄公の生誕 500 年を記念して、甲府市においても様々なイベントが企画・実施されました。毎年 4 月に行われる信玄公祭りでは甲州軍団出陣があり、甲府キャンパスのある武田通りをパレードします。本年も信玄公生誕 500 年に関わるイベントが企画され、秋には信玄公祭り「甲州軍団出陣」が予定されていますので、山梨県の歴史に触れていただければと思います。

中部横断自動車道の山梨県～静岡県的全線が昨年が開通し、物流・輸送の効率化、企業の立地、雇用の促進の拡大と人口の増加による地域の活性化が期待されています。更に、2027 年にはリニア中央新幹線の東京～名古屋間が開通予定であり、東京から甲府までは約 25 分とアクセスが向上し、経済や産業の発展、人材や文化の融合などによって、新たなイノベーションの創出、地域の活性化が大いに期待されています。

皆さんは、このような素晴らしい環境の山梨県で学ぶこととなります。生活環境が大きく変わり、不安もあるかと思いますが、学びを主体に充実した学生生活を送れるよう、学生サポートセンターを中心に、様々な相談・支援体制を整えていますので、気軽に相談していただければと思います。

皆さんには大学での学びを通じて、専門知識・技能を獲得するだけにとどまらず、「自ら学び、

自ら考える力」を身に着けてほしいと願っています。また、目標も考え方も異なる他学部の学生とも積極的に交流を深め、心を開いて語り合える友人をたくさん作って下さい。読書・スポーツ・旅行・芸術鑑賞・留学など沢山の経験をして下さい。広い知識と教養を深め、人間としての豊かさを培って頂きたいと思います。

さて、世界に目を向けますとウクライナ各地での無差別爆撃やジェノサイドの様子が報道され、心を痛める日々が続いております。大学も例外ではなく、インフラも破壊され、通常の講義も不可能となっています。そのような戦火に追われる状況にありながら工学系先端技術に関する講義をぜひ聞きたいというウクライナの学生達からの強い希望があるという話を伺い、心を打たれ全力で支援することとしました。先ずは、ウクライナ東部の都市、ハルキウ(ハリコフ)の学生に、先端技術や環境などに関する13科目の授業をオンデマンドで配信します。早速36名の学生が登録いたしました。このような取組が全国の大学に広がり、さらに講義内容が発展、充実し、ウクライナの学生達への支援となることを心より願っています。

今年も学部や大学院に世界14カ所の国と地域から48名の留学生を迎えます。  
留学生の皆さんのために、ここから少し英語でメッセージを贈ります。

To all of our international students: we would like to welcome you to Yamanashi.  
You have come from all over the world, including Bangladesh, Brazil, BurkinaFaso, China, Ethiopia, Germany, Madagascar, Malaysia, Philippines, Republic of Korea, South Sudan, Thailand, Viet Nam and Taiwan.

It is our great pleasure to have you here. We sincerely hope that you will enjoy campus life here in beautiful Yamanashi.

COVID-19 pandemic has spread all over the world, and the situation is still unpredictable. We must all cooperate on a global scale to overcome this crisis.

We will endeavor to do our very best to facilitate your educational needs, and help with your career development.

We hope that your stay at our university will be a successful one.

Thank you.

結びになりますが、ご家族の皆様方には、入学生の皆さんを今後共あたたく見守って頂くとともに本学へも引き続きご支援賜りますように、お願い申し上げます。

入学生の皆さんとご家族の皆様に、改めて心からのお祝いを申し上げ、わたくしからの式辞といたします。

ご入学、誠におめでとうございます。

令和4年4月6日

国立大学法人山梨大学

学長 島田 眞 路